

事業別戦略
モビリティ
サービス

モビリティ業

鉄道事業のほか、バス事業やフェリー事業、鉄道に関連する工事業、建設業などを展開しています。
鉄道事業は2府16県の広いエリアを営業範囲として、新幹線、在来線特急を中心とする都市間輸送および、京阪神都市圏や広島、岡山などの地方中核都市を中心とする地域での都市圏輸送などを行っています。

西日本エリア

- 日本第二の都市圏である関西都市圏、広島、岡山、金沢など主要な中核都市を擁する
- 営業エリアには豊富な観光資源が存在

輸送サービス品質

- ハード・ソフト両面から駅・ホーム・列車・踏切などでさまざまな安全性向上に向けた取り組みを推進
- 駅や車内の快適性向上、輸送障害時の迅速な情報提供
- 鉄道の旅を楽しんでいただける観光列車や、通勤特急など多様なニーズに応える車両の展開

利便性

- ICカード「ICOCA」やチケットレスサービスの拡充
- 移動生活ナビアプリ「WESTER」等、JR西日本グループ一体となったサービスの提供

強み

長期ビジョン・中計実現に向けた具体例

ご利用しやすい持続可能な交通体系を地域と共に推進

自動運転・隊列走行BRTの社会実装に向けた取り組み

当社ローカル線のうち、鉄道の特性が十分に発揮できないと考えられる線区については、地域のまちづくりや線区の特性・移動ニーズを踏まえ、鉄道の上下分離等を含めた地域旅客運送サービスの確保に向けて、地域の皆様と対話を推進しています。また、さまざまな移動手段に関するソリューション開発にも取り組んでおり、イノベーションの力も活用しながら、持続可能な交通体系の実現に貢献します。



自動運転・隊列走行BRT

まちづくりと連携した持続可能な地域交通としての次世代モビリティサービスの実現に向けて、「自動運転・隊列走行BRT」の技術確立に取り組み、社会実装を目指しています。
2022年11月には広島大学、東広島市、および当社で連携協定を締結し、都市拠点などにおける公共交通の機能強化と魅力向上に向けて、BRTの導入検討に関する研究、実証実験および政策形成を相互に連携しながら推進しています。
2021年10月に開始した専用テストコース(滋賀県野洲市)での実証実験を2023年7月に完了し、社会実装に向けた次のステップとして、2023年11月(予定)から公道(広島県東広島市)での実証実験を開始します。

事業展開

新幹線	山陽新幹線	北陸新幹線
	<p>営業区間 新大阪～博多</p> <p>開業年 新大阪～岡山 1972年 岡山～博多 1975年</p>	<p>営業区間 上越妙高～金沢</p> <p>開業年 上越妙高～金沢間開業 2015年 金沢～敦賀間開業 2024年春</p>
在来線	近畿圏	その他

鉄道輸送データ(2022年度)

キロ程※(キロ)	輸送人員(百万人)	輸送量(百万人キロ)	駅数(駅)
計 4,903.1 新幹線 …… 812.6 在来線 …… 4,090.5	計 1,641 新幹線 …… 68 在来線 …… 1,588	計 47,892 新幹線 …… 16,293 在来線 …… 31,598	計 1,174

※キロ程は、第一種鉄道事業および第二種鉄道事業のキロ程です

戦略

安全性向上

- 福知山線列車事故を原点とし、安全を追求し続け、弛まぬ努力を継続 P21

鉄道事業の活性化と構造改革

- 新幹線を基軸とした鉄道ネットワークの充実 P29
- 関西都市圏ネットワークのさらなる進化 P30
- 移動と暮らしを豊かにする鉄道サービスの充実
- 業務プロセスの変革による生産性向上 P30

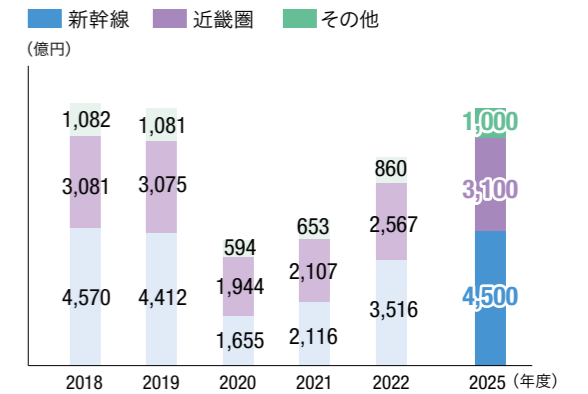
ご利用しやすい持続可能な交通体系を地域と共に推進

安全・サービス向上の取り組みに合わせた持続可能な運賃・料金設定

- 競合環境などを踏まえた届出の範囲内での見直し
- 運賃・料金体系のシンプル化、需要に応じた弾力的な価格設定
- 持続可能な運賃・料金制度について、関係機関と継続的に協議

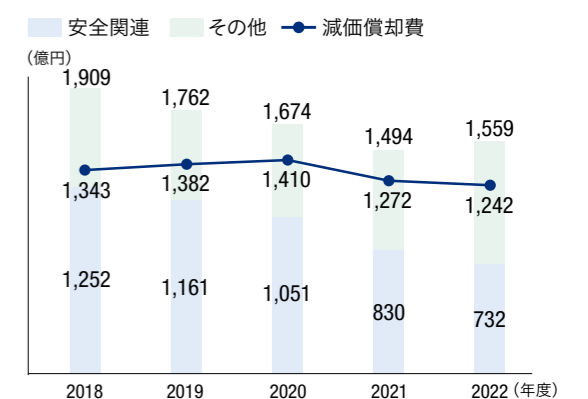
業績推移

運輸収入



※2021年度より「収益認識基準に関する会計基準」を適用しています。

単体設備投資(自己資金)



大切にしている価値観

トップメッセージ

めざす未来に向けた価値創造プロセス

価値創造の基盤となる取り組み

データ集